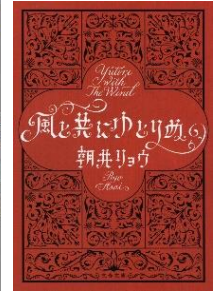


【川名陽奈子先生推薦】

【時をかけるゆとり/風と共にゆとりぬ（文藝春秋） 著：朝井リョウ】

皆さんは、活字の本を読んで親から心配の目を向けられるほど爆笑したことはありますか。私はあります。この本は、朝読書の時間や電車の中で読むと冷ややかな視線を向けられることになるため、読む場所や時間帯は考えましょう。

この2冊はエッセイ集で、戦後最年少直木賞受賞作家・朝井リョウが、高度な観察眼と語彙力を駆使し、一般的なその辺にいる大学生の（くだらない）日常を解像度高めで描いて



います。「語彙力ってこんなに無駄遣いできるのか。」「こんなに面白いことがたくさん起こるなんて羨ましい。」「作家の表現力ってすごい。」「作家も痔になるんだ。」と皆さんも思うこと間違いなし。何度も読みたくなり、何度読んでも笑える名作です。



朝井リョウのマジメな小説が読みたい！！と思いついて『どうしても生きてる』『正欲』を読みましたが、エッセイとの差が激しく衝撃を受けました。生きることについて考えさせられる内容になっているのでこちらも是非読んでみてください。

【世界一わかりやすい英語の勉強法（株式会社 KADOKAWA） 著：関正生】

高校時代にこの本に出会っていなければ、私は今ここにいなかったといっても過言ではないかもしれません。皆さんは英単語を覚えることは得意ですか。私は苦手です。「自分は記憶力が乏しいから、効率よく覚える方法があればいいのになあ。」高校時代の私と同じ考えを持っている人もいるでしょう。ぜひこの本をご一読ください。語学の勉強に近道は無いと教えてくれます。全て実践したわけではありませんが、私はこの本の『1か月で1000単語覚える方法』『リスニング力を上げるための4つの知識』を実践し、そしてそれは【高3で英検準1級合格】

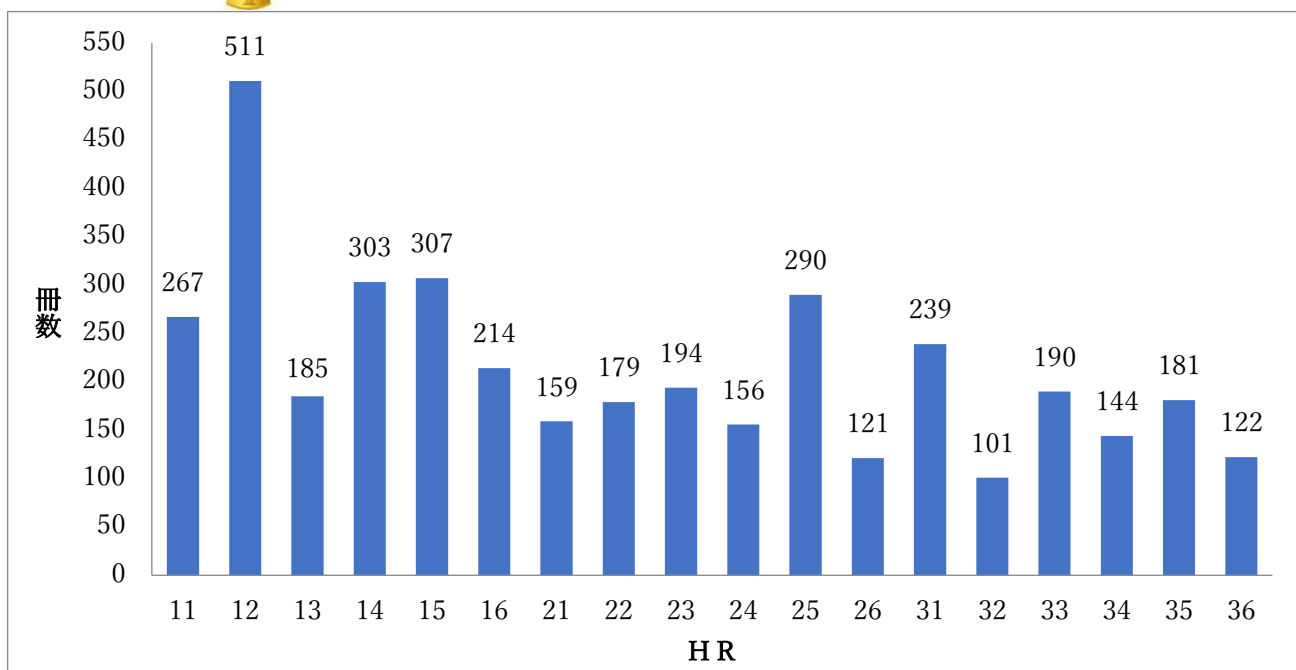


【第一志望大合格】【教員採用試験合格】の支えとなりました（過去の栄光です）。高校時代の猛勉強は、今の私に確かに繋がっていると感じます。

この本を読むだけでは英語は出来るようになりませんが、書いてある内容を実践しさらに継続すれば結果はついてきます。正直言って、大変で投げ出したくもなります。しかしこの大変さを乗り越えたら、皆さんの将来は良い方向に大きく変わっていることでしょう。英語で皆さんの将来をより良いものにしてみませんか。



令和5年度(1月まで)の読書量調査



◆7冊以上読んだ人(1月まで)◆

HR	11	12	13	14	15	16	21	22	23	24	25	26	31	32	33	34	35	36	合計
人数	15	36	8	26	16	14	7	7	8	6	14	0	19	2	12	4	12	4	210
%	37%	90%	20%	63%	40%	34%	18%	18%	20%	15%	33%	0%	50%	5%	32%	11%	29%	11%	29%



1月までの図書館貸出ベストリーダー



図書館の本の貸出冊数は、読書量調査と違って、あくまでも図書館の本を借りて読んだということです。4月から1月まで図書館を常時利用して、読書に励んだベストリーダーを紹介します。

以下の生徒には、図書課から図書カードが贈呈されます。

1位	27冊	11HR	下平 拓実	2位	20冊	23HR	樺山 達洋
3位	13冊	33HR	石清水 埜愛	4位	11冊	11HR	深田 康平
4位	11冊	14HR	小林 明帆	4位	11冊	35HR	村松 和花
7位	9冊	15HR	相場 風河	7位	9冊	26HR	寺田 雄大
9位	8冊	34HR	小田 ももこ				